

修了生の声

○かけがえのない大事な2年間

私にとって、上武大学大学院での2年間はかけがえのない時間でした。今までは法律を理解し覚えることを勉強としてきましたが、大学院では修士論文を完成させるため、法律を疑い、多くの書籍や論文を読んで自分の意見を立証することを学びました。また、年齢層の異なる沢山の仲間達と出会い、切磋琢磨できたことも良い思い出です。ジェネレーションギャップを感じることもありましたが、それぞれが自分の意見を出し合い議論したことは、論文作成に限らず、税理士として働くうえでも大変役に立ちました。

私のように、家族を抱え働く社会人であれば、普段の仕事の後に大学院へ通い、週末の休みが課題や論文作成で潰れることも覚悟しなければなりません。それでも、大学院へ通う2年間はそれを超える有意義な経験であると断言できます。

* 吉田直樹さんは、2020年12月に国税審議会から税理士試験免除決定通知書を受領され、現在、税理士として活躍されています。



吉田直樹さん
(2020年3月修了)

○大学院・仕事・税理士試験の3つを両立

上武大学大学院では、忙しい社会人のために夜間でも修士課程を修了することが可能なカリキュラムを準備しています。これにより大学院・仕事・税理士試験の3つを両立することができます。現に私も仕事をしながら夜間大学院に通い、1年時に税理士試験の科目合格をしました。多くの方がこの両立に成功しています。上武大学が頑張る人に一定の特典を設けていることなど、学校全体で夢を応援してくれていることがその一因だと思います。



櫻井貴也さん
(2022年3月修了)

授業では、実務家出身の教授も多いため、実務の観点からの話が聞けるなど、通常の座学とは違った学び方ができます。学生生活は2年と短い期間ですが、しっかりと論文指導をしてくれる指導教授のもとで充実した時間を過ごせました。

○成長の2年間

私は、上武大学大学院で運動生理学分野の身体機能マネジメントを修めました。修士在学中の生活は、英語論文を読んだり、データ解析手法を学んで研究に活用するといった積極的に学ぶ姿勢を高めることができ、有意義な期間でした。その結果、修士論文を完成させるために、研究テーマに関する先行研究と自らの結果を比較し、一歩進んだ分析をすることでオリジナリティーの高い研究ができたと思います。



相馬拓実さん
(2022年3月修了)

また、スポーツ健康マネジメントコースは経営管理研究科の中にあり、経営管理としてのスポーツマネジメントやスポーツビジネスに関する深い知識も学ぶことができました。

大学院での2年間で、私は専門性を高めることができましたと思います。その経験と知識を活かし、社会に貢献できる人になれるように今後とも努力を積み重ねたいと思います。